

おおたま学園コミュニティ・スクール便り

令和4年7月19日発行 No.31 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)



今年度も明日をもって1学期が終了します。コロナ禍の難しい中でも、各幼稚園、小・中学校は、感染対策と様々な工夫を重ねながら教育課程の実施に努めてまいりました。地域・保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

さて、本年度もおおたま学園コミュニティ・スクール委員会は、学校、家庭、地域をつなぎ、よりよい教育を実現するために努力をしています。これまでのコミュニティ・スクール委員会、大山幼稚園・大山小学校オープンスクール等の様子についてご紹介します。

【令和4年度のコミュニティ・スクール委員を紹介します】

大玉村のコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は令和元年度から第3期目（令和元年度～4年度）を迎えています。今年は昨年度に引き続いての任期（2年間）ですので、メンバーの大幅な変更はありませんでしたが、新たに4名の新委員を迎えてスタートしました。（敬称略、★新たな委員）

会 長 伊藤 和弥（地域住民）
副会長 矢吹 吉信（大山小推薦）、吉田 都（地域住民）、館下 愛理（大山小推薦）
委 員 安田 浩明（大玉中学校長）、★齋藤 和久（大山小学校長）、★佐藤 則之（玉井小学校長）
二瓶 博子（大山幼稚園副園長）、後藤弥和子（玉井幼稚園副園長）
田邊 幸枝（大玉中推薦）、浅和 博栄（大玉中推薦）、武田 智道（玉井小推薦）
後藤 吉美（玉井小推薦）、佐原 信子（大山幼推薦）、佐藤 史江（大山幼推薦）
麻生 希美（玉井幼推薦）、今井 綾子（玉井幼推薦）、★佐原 孝男（区長会推薦）
武田 富夫（地域住民）、今野 裕三（地域住民）、五十嵐 住男（地域住民）
小椋 伍（商工会青年部推薦）、佐原 弘美（スポーツ少年団推薦）
★伊藤 和文（地域連携担当教職員）

本年度のコミュニティ・スクール委員会(学校運営協議会)がスタート！

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以降CS委員会と略記）は、第1回目の委員会を5月12日（木）に開催し、年間9回の委員会等の事業計画を決定しました。（うち3回はオープンスクールと組み合わせて、各幼稚園や小・中学校に特化した学校運営協議会を行います。）

□ 初回は、新委員の委員任命・委嘱状交付の後、今年度の方針と年間活動計画、地域学校協働活動事業計画についての確認を行いました。

その後、各幼稚園、各小・中学校ごとの部会に分かれて、本年度の指導の重点についての説明や各校・園の学習活動の様子、経営上の課題等について意見交換を行いました。CS委員会として、今後も各校・園の課題についての熟議を継続するとともに、課題解決に向けて地域・保護者としてできることは何かを明確にして、一つ一つ取り組んでいこうということになりました。



□ 6月24日（金）には、大山小学校のオープンスクールが行われ、CS委員も公開授業やその後の先生方の研究会の様子を参観させていただきました。

授業は、子どもたちの疑問が解決されていく“分かる授業”が展開されていました。一人一人の児童が熱心に学習に取り組む姿が印象的でした。

学校運営協議会では、学校が設定した3つのテーマに基づいて協議が行われ、活発な意見交換がなされました。

（裏面に地域・家庭・学校ができること・行いたいこと等で主なものを抜粋します。）

1. 自ら考えともに学び育つ子どもを育てるために

- 学習について
 - ・ 学校、家庭の双方で、子どもが学ぶことの楽しさを実感できるようにする。(自主学習を大切に。学習について家庭での会話を増やす。知的好奇心を高める工夫をする。)
- 読書活動の推進について
 - ・ 読書環境を整える。(魅力的な学校図書館、図書コーナー)
 - ・ P T Aで読書推進委員会をつくり検討する。



2. 互いを尊重し、自己マネジメント力を高めるために

- なかよく助け合う
 - ・ 子どもが自分で決定する場をつくる。言葉かけを大切にする。
 - ・ 子どもの困りごとの把握と早い対応。学校と家庭が一緒になって子どもの言葉遣いの指導をする。
- 「メディアコントロール月間」について
 - ・ 親子でメディアコントロールに取り組む。メディアとの関わり方を親子で研修することも必要。
 - ・ 「メディアコントロール月間」の実施を「防災大玉広報」等で地域に知らせる。
 - ・ 地域全体であいさつ運動をする。

3. 望ましい生活習慣や食習慣を身につけさせるために

- 健康な体をつくるために
 - ・ 規則正しい生活習慣 (早寝・早起き等)。食事の大切さ (バランスのとれたメニュー、朝食等のレシピ等を紹介する。)
 - ・ 健康相談の実施。親子で一緒に歯磨きに取り組む。幼児には仕上げ磨きをしてあげる。早期の虫歯の治療が大事である。P T Aで研修会を開いて学ぶ機会をつくる。(専門家の講話等の開催)
- 体力向上のために
 - ・ 学校での運動…低学年から様々な運動の基礎を丁寧にしっかりと身につけさせる。体幹を鍛える運動。体育委員会が企画する運動タイムの実施。
 - ・ 親子で一緒に活動・運動する機会を増やす。



□ 7月5日(火)の第3回C S委員会では、おおたま・オータム・フェスタの実施案の検討を行いました。本年度は、コロナ対策を徹底した形で3年ぶりに開催する予定であります。現在、計画を詰めている最中です。

- 小・中学校は10月1日(土)<雨天の場合は2日(日)>に、幼稚園は10月14日(金)実施予定です。
- 新型コロナの感染状況によっては延期・中止する場合もあります。

学年別活動内容

幼稚園児	小学校1・2年生・中学3年生	小学校3年生
スポーツ交流イベント (会場) 改善センターグラウンド(村民屋内運動場)	『昔遊び・グラウンドゴルフ』体験 (会場) 大玉中体育館・武道館・グラウンド	大名倉山登山 (会場) 大名倉山
両幼稚園の園児が改善センターグラウンドに集まり、地域の方々とふれあい、交流する。 ※10月14日(金)実施予定	大玉中に集合し、体育館・武道館・グラウンドで昔遊びやグラウンドゴルフを行い、小・中学生が他校生や地域の方々と交流を深める。	ポケットパークから新しく整備された登山道を利用して山頂を目指す。イグネの風景を見ながら昼食後、下山する。
小学4年生	小学5年生・中学2年生	小学6年生・中学1年生
安達太良ふれあい登山 (会場) 安達太良山	県民の森オリエンテーリング大会 (会場) 県民の森周辺	ミニ運動会 (会場) 玉井小校庭・体育館
仲良く、助け合い、声を掛け合いながら、紅葉真っ盛りの安達太良山の山頂を目指す。 昼食後も一緒に徒歩で下山する。	小中混合の4～5人一組のグループで、紅葉に彩られた県民の森でスコアオリエンテーリングに挑む。制限時間60分の対抗戦で競う。	小・中学生がチームに分かれ、互いに励まし合いながら運動に取り組む。また、保護者、地域の方々とふれあいを楽しみ、交流を深める。